

# 農業者育成の基本構想まとまる

## 防災体制は被災直後の対応が課題

### 3月議会一般質問



昭和41年に植えられた苗木も今では見上げるほどに成長しています

3月定例町議会では、5議員が農業や防災、環境など9項目の一般質問を行いました。概要は次のとおりです。

#### 観光開発

問 坂田梅林の保護育成と観光活用について伺いたい。  
答 数年前から、木を枯らす害

虫コスカシバの駆除費用の二分の一補助を実施しており、平成7年度には、消毒費用の補助をすべく予算の計上もさせていただいている。また、補植用苗木

の購入費についても、一定の本数以上の場合には、その費用の一部を補助したいと考えている。観光活用については、坂田の梅林が農家のみなさんの個人所有であり、梅酒用の梅の生産を目的に栽培されているものなので、生産者の意向を十分把握したうえで対応したい。

#### 環境整備

問 ゴミ減量化に向け、町独自のアイデアを実践すべきと思うが。

答 当町では空カン・空ビン・金物類・粗大ゴミ等の分別収集を各地区の役員さんにご協力をいただきながら実施しているほか、生ゴミを堆肥化させる容器的補助金制度を平成4年に設けているが、ゴミ問題は大きな課題であるので、今後十分検討を加え減量化に努めたい。



分別収集にご協力ください。

#### 防災対策

問 町の防災行政について伺いたい。①阪神大震災によって様々な教訓が得られたと思うが、町はどのような防災体制をつくっていくのか。②防災計画が策定されてからこれまで防災会議は開かれていたのか。③学校その他の公共施設の耐震検査基準と対応策について伺いたい。また、公営住宅も検査対象としてどうか。④飲料水兼用の消火水利や給水タンクを計画的に設置すべきでは。⑤各学校等に避難した人たちの食事を確保するには、学校給食のセンター方式を自校方式に替えるべきと思うが。⑥防災倉庫を各避難場所内に設置し非常食などの備品を備蓄しては。⑦各集落単位で結成されている自主防災会を充実強化する必要があると思うが。

答 ①被災直後の対応が最大の課題であると考えてるので、人命救助を最優先として、組織体制や応援体制、情報の収集伝達、被災者の収容、物資の調達等の確立強化を図っていききたい。②昭和38年に防災会議条例を制定し、計画の決定、推進等のため一度開催している。③震度7を基準に建物の設計にあたった設計事務所を依頼したいと考えている。なお、困難な場合は専門業者に委託したい。公営